



# 「ATE保証」サービスと 他の弁護士費用提供サービスの比較



## 「ATE保証」以外の他の弁護士費用提供サービス

「ATE保証」以外の弁護士費用を提供するサービスとしては、損害保険会社が提供している従来型の弁護士費用保険(事前契約型)と、「法テラス」(日本司法支援センター)が提供する民事法律扶助があります。

- 従来型の弁護士費用保険は、法的トラブルや紛争が発生する前に保険に加入した上で、保険料を払い続けておくことで、万が一、トラブルや紛争に巻き込まれて弁護士に依頼することが必要になった場合に、弁護士費用分の保険金が支払われる損害保険サービスです。

ただし、保険金が支払われるのは、損害保険契約で定める一定類型のトラブルや紛争に限定されています。また、保険契約日から一定期間の待機期間中に発生した法的トラブル(法的トラブルの原因となる事実が帯域期間中に発生した場合を含みます)については、保険金は支払われません。

- 「法テラス」は、国が設立した法務省が所管する組織です。  
「法テラス」の民事法律扶助は、経済的余裕がない方が法的トラブルにあった時に、無料で法律相談を行い弁護士・司法書士の費用の立替えを行うサービスです。

「ATE保証」と、これらのサービスには、それぞれ、長所・短所があり、補完関係にあるため、債権者の方のご状況やご希望に沿って、適切なサービスをご利用されることをお勧めしております。



# 「ATE保証」とその他の弁護士費用提供サービスの特徴

## A) 「ATE保証」の特徴:

- ☆ 法的トラブルに巻き込まれた後に契約が可能。
- ☆ 敗訴した場合や、勝訴・和解したが現金を回収できなかった場合には、当社が立て替えた着手金の額は実質返還不要なので、「敗訴した場合に、弁護士費用の分、損をしてしまうリスク」がない。
- ☆ 個人・法人ともに利用できる。
- ▲ 勝訴・和解の結果、現金を回収できた場合には、着手金分の返済に加えて、保証料を支払う必要がある。

## B) 従来型の弁護士費用保険の特徴:

- ☆ 「敗訴した場合に、弁護士費用の分、損をしてしまうリスク」がない。
- ☆ 保険商品によっては、個人だけではなく、法人も利用できる。
- ▲ 法的トラブルに巻き込まれる前に加入して保険料を支払い続けることが必要。
- ▲ 結果として法的トラブルに巻き込まれなかった場合も含めて、事前に保険料を払っておくことが必要。ただし、保険料は相対的には安い。

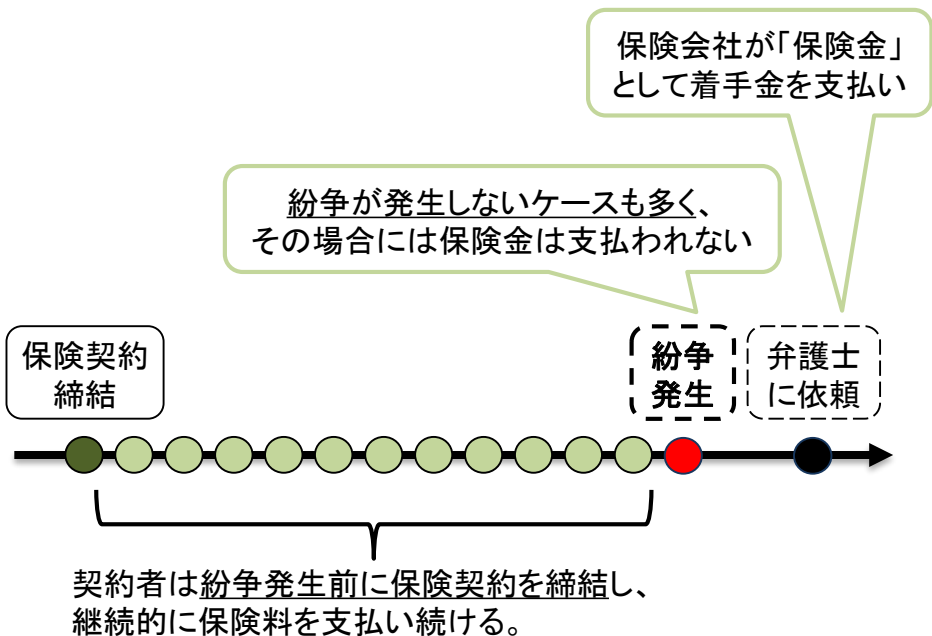
## C) 「法テラス」の民事法律扶助の特徴:

- ☆ 法的トラブルに巻き込まれた後に利用が可能
- ☆ 利息や保険料などのサービス利用の対価の支払いが必要ない。
- ▲ 敗訴した場合や、勝訴・和解したが現金を回収できなかった場合でも、原則として返済義務がある。そのため、「敗訴した場合に、弁護士費用の分、損をしてしまうリスク」がある。
- ▲ 利用できるのは、月収が一定額以下の個人のみ。また、法人は利用できない。

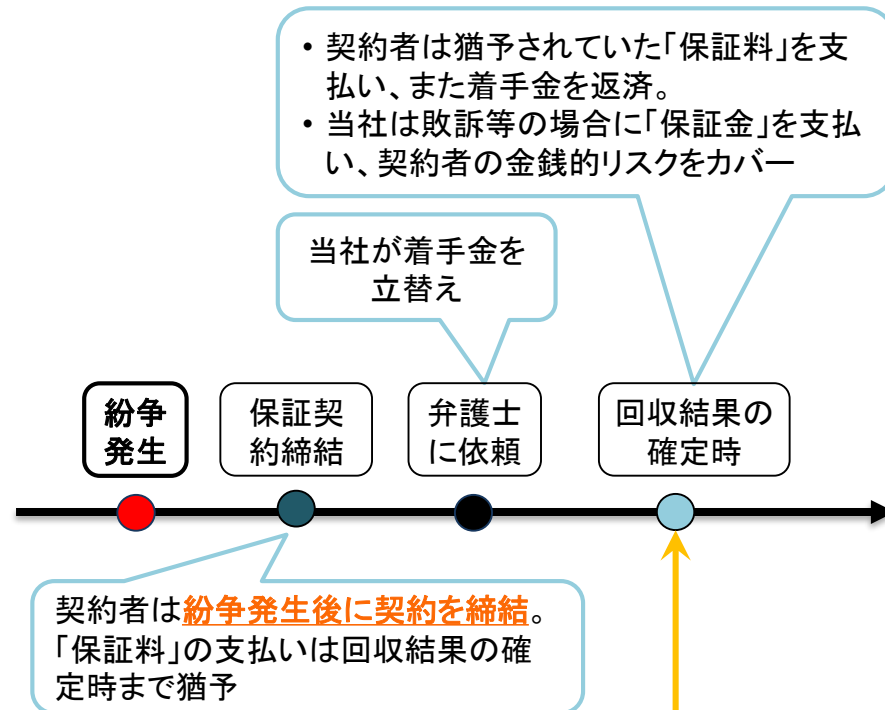


# 従来の弁護士費用保険(事前契約型)と「ATE保証」(事後契約型)の違い

## 従来の弁護士費用保険



## ATE保証



事前契約型では、紛争発生前に継続的に支払う保険料(保証料)を  
事後契約型では、紛争発生後&回収結果確定時にまとめて支払う